

# ADVANCED Pro Audio Designs

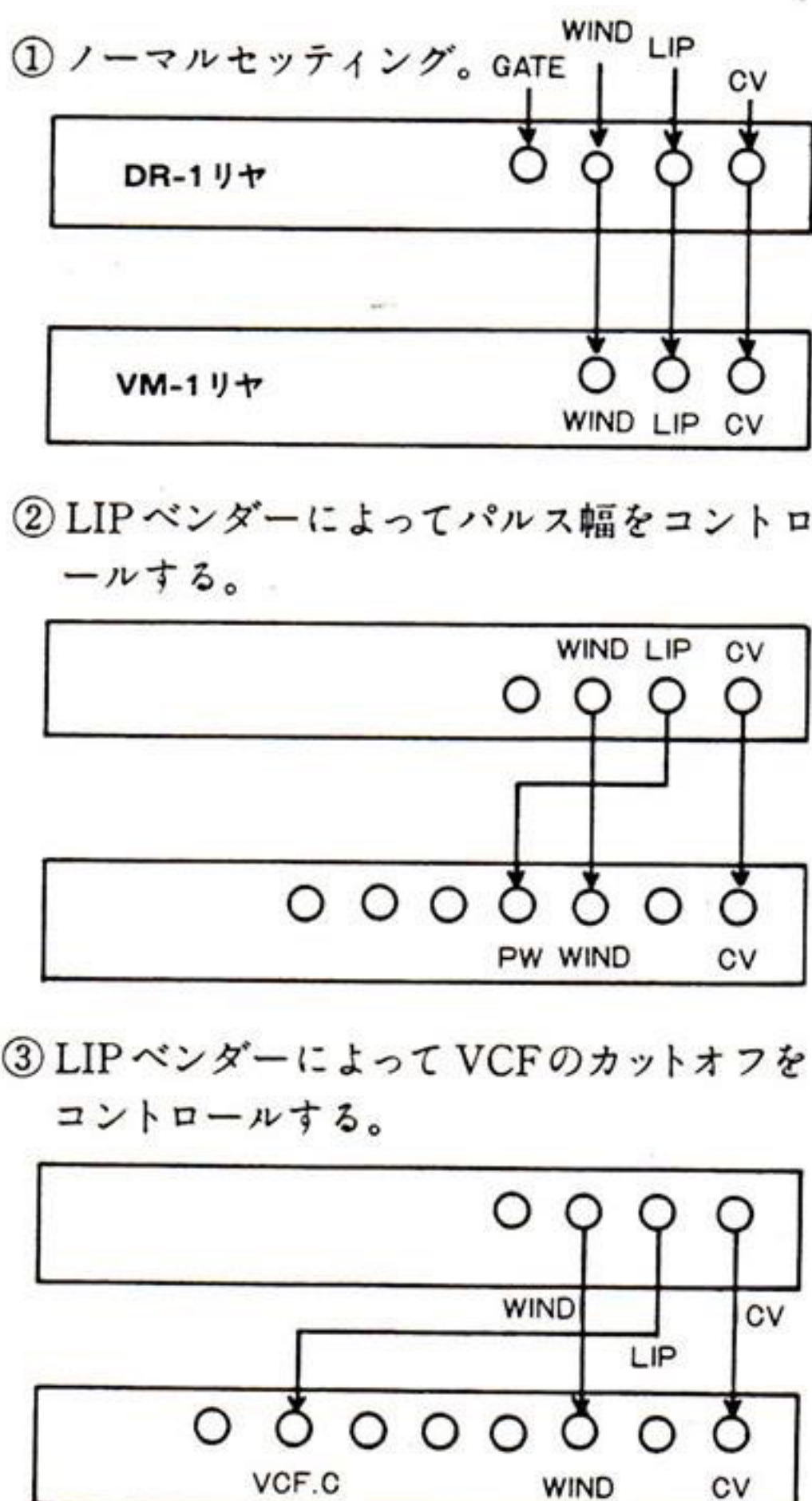
## Wind Synthesizer Type II 使用説明書

“ADVANCED Pro Audio Designs” Wind Synthesizer Type II はボディ本体ならびにドライヴァー#DR-1から成るコントロールシステムとワンヴォイスモノフォニックシンセサイザーより成り立つヴォイスモジュール#VM-1から構成されております。コントロールシステムでは①マウスピース②息吹き圧とアタックと③指操作によるシグナル可変操作が可能です。これら3ヶのシグナル可変は同時にヴォイスモジュール側からのサウンドをコントロールする場合にも使えます。ワンヴォイスモノフォニックシンセサイザー(ヴォイスモジュール)はVCO(ヴォルテージ・コントロールドオシレーター)、VCF(ヴォルテージ・コントロールドフィルター)、VCA(ヴォルテージ・コントロールドアンプリファイアー)ならびにOUT/IN セクションより構成されております。

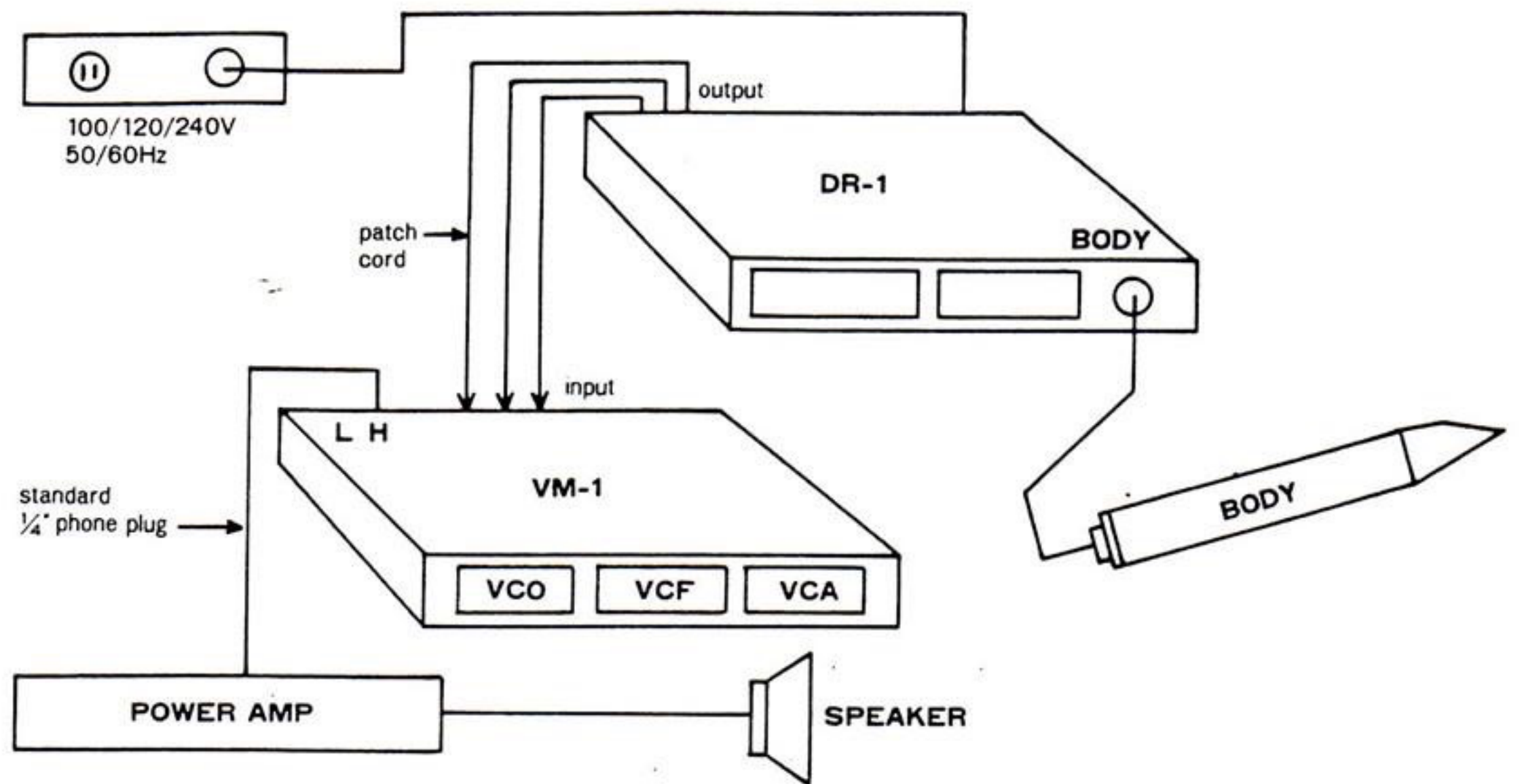
### 使用方法

- ①すべての機器をSWITCH ONにして下さい。
- ②ウォームアップに5~10分まって下さい。
- ③まず最初にBODYに息を吹き込んで下さい。
- ④DR-1のTHRESHOLDツマミを右にまわし音が出る少し手前にセッティングします。
- ⑤Power AmpのVolumeを適当な位置にセットして下さい。
- ⑥スケールを合せます。
- ⑦レンジとチューニングを希望のピッチに合せます。

### 例

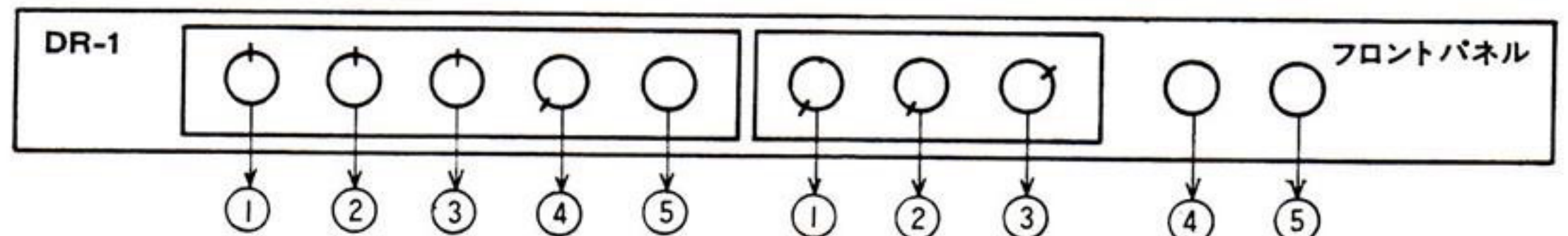


### 接続方法



## DR-1使用説明書

### (DR-1) フロントパネル説明

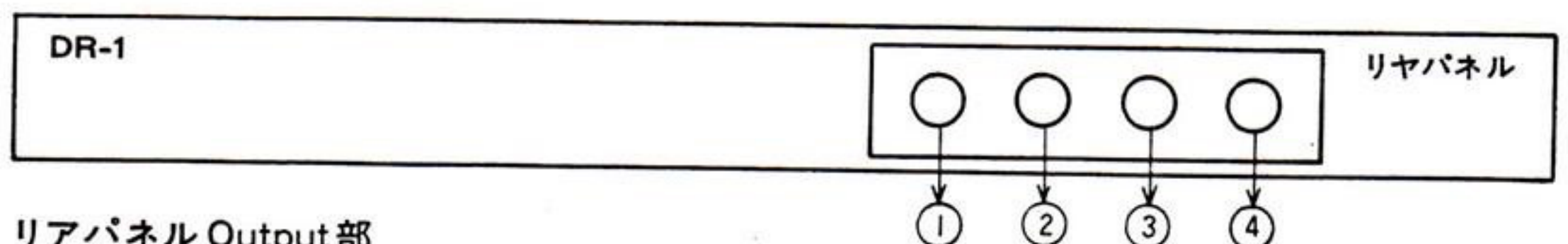


#### Key Control 部

- ① RANGE  
3オクターブの変化がつけられます。中央がノーマル、左が1オクターブ下、右が1オクターブ上になります。
- ② SCALE  
イントネーションをあわせたり外部シンセサイザーのピッチ変化のためのものです。オクターブ調整に使用するもので1ヴォルト1オクターブで変化します。
- ③ Tuning  
適当なイントネーションにスケール(SCALE)を調整してからTuningコントロールでピッチを合せます。この場合Tuningを変化させてもイントネーションに影響を与えません。
- ④ Glide  
キーをコントロールした時になめらかさを加えたもので左いっぱいにはOFF、右いっぱいが最大となります。
- ⑤ Glide SW  
④のグライドコントロールをON、OFFさせるスイッチです。

#### Mouthpiece Control 部

- ① Bend  
くちびるでの強弱でピッチベンドの量を調整するためのものです。そのレンジ(範囲)は約1/4トーンから1オクターブ近くまでです。
- ② Attack  
ボディトランジューサーから得られるウインドレベルを下げるものです。また全体的な音量可変としても使えます。
- ③ Threshold  
ボディトランジューサーにかかる風圧がどのくらい必要か設定するものです。時計方向でスタカートに、反対方向で吹き込む息の立ち上がりスピードをおさえて、Attackと使用して、よりレガート効果をもたらします。
- ④ Body  
ウインドシンセサイザーボディとつながります。
- ⑤ Power  
電源スイッチ。ボディをつないでからONして下さい。



#### リアパネル Output 部

- ① CV  
CVシグナルはボディから直接得られます。スケールとチューニングコントロールによる影響をひきおこしません。CV範囲は一番低いノートで約+83m VDC、一番高いノートで約+3.5VDCです。これは追加する

シンセサイザーのモニターとして、またピッチとフィルターをコントロールするのに役立ちます。(VM-1のCVとパッチインします)(注: フロントのベンドコントロールの信号もこのCVから出ます)

② LIP

LIPシグナルもまたボディから直接得られます。LIPシグナルの0から+10Vは種々に異なる他シンセサイザー機能をコントロールしたりピッチ調整に使用されます。リードを閉めた時約10Voltでゆるめた時約+0Vになります。(VM-1のLIP、PW(パルスワイズ)コントロール、VCFコントロールなどにパッチングします。)

③ WIND

WINDシグナル風圧なしで+0.5Vから最大風圧で約+10Vに変化します。これは追加するシンセサイザーをコントロールしたりフィルター・スイープや他シンセサイザー効果に使用します。(VM-1のWINDとパッチングします)

④ GATE

GATEのパルス信号は息吹きが行われた時に開始し息吹きが終わるまで続きます。(注: ウインド効果は出せません)

## VM-1 使用説明書

VM-1はウインドシンセサイザードライバーDR-1の性能を最大限に引き出す様に開発されたモノフォニックシンセサイザーモジュールです。

### VM-1 フロント説明

- 1) TUNING. 超低音から超高音までをコントロール出来ます。
- 2) FINE. 1)のTUNINGが出来ましたらこれで微調整します。
- 3) PW(パルスワイズ). 4)のウェーブがのポジションでパルス幅を「L」から「H」に変化出来ます。注: 左いっばいに回しますとパルス幅がせまくなり音が出なくなります。
- 4) WAVE. 「L」「M」「H」の3トーンが選べます。EXはリヤのVCFシグナルインから外部オシレーターをつないだ時に使います。
- 5) CUT-OFF. VCFカットオフフレクエンスコントロールです。
- 6) RESONANCE. VCFカットオフの共振コントロールです。左いっばいで0、右へ回し中央近くから発振しはじめます。
- 7) WIND AMOUNT. リヤのWIND-INのレベルをコントロールします。ボディのウインドの量で音質を変化させる時に回します。
- 8) LIP. リヤのLIP-INのレベルをコントロー

### Fingering Chart

LOW REGISTER (MODIFIED BOEHM SYSTEM)

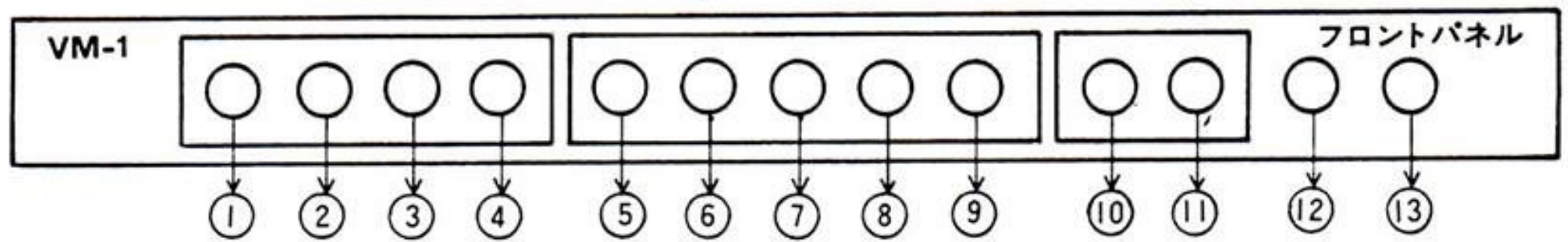
	A#	Bb	B	C#	C	D#	D	E#	E	F#	F	G#	G	A#	A	Bb	B	C#	C	D#	D	
オクターブキー																						
左手	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
右手	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44

MIDDLE REGISTER (MODIFIED BOEHM SYSTEM)

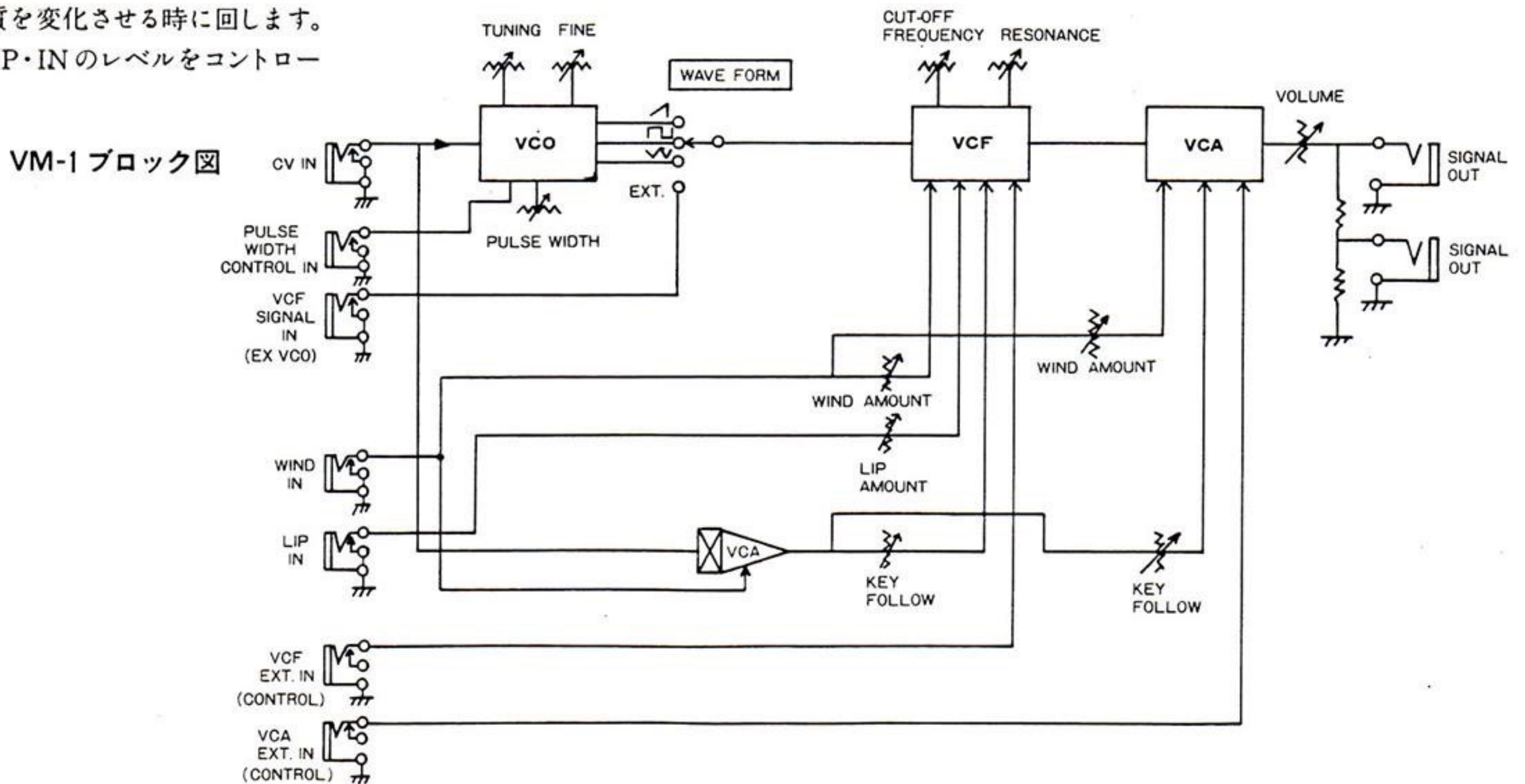
	D#	D	E#	E	F#	F	G#	G	A#	A	Bb	B	C#	C	D#	D
オクターブキー																
	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38

UPPER REGISTER (MODIFIED BOEHM SYSTEM)

	D#	D	E#	E	F#	F	G#	G	A#	A	Bb	B	C#	C	D#	D	E#	E
オクターブキー																		
	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	



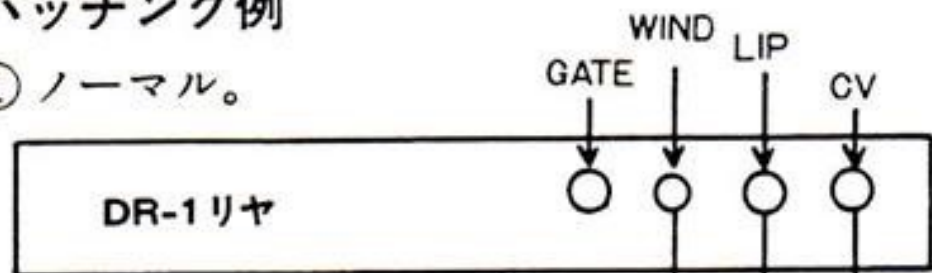
- 9) KEY-FOLLOW. リヤのCV-INのレベルをコントロールします。ボディのキーの低音・高音の幅(ピッチ)で音質を変化させる時に回します。
- 10) VCA.W.A. リヤのウインドINのレベルをコントロールします。ボディのウインドの量で音質を変化させる時に回します。
- 11) VCA KEY-F. リヤのCV-INのレベルをコントロールします。ボディのキーの低音・高音の幅(ピッチ)で音質を変化させる時に回します。
- 12) VOL. リヤのHIGH、LOW OUTのレベルをコントロールします。
- 13) POWER. 電源スイッチです。



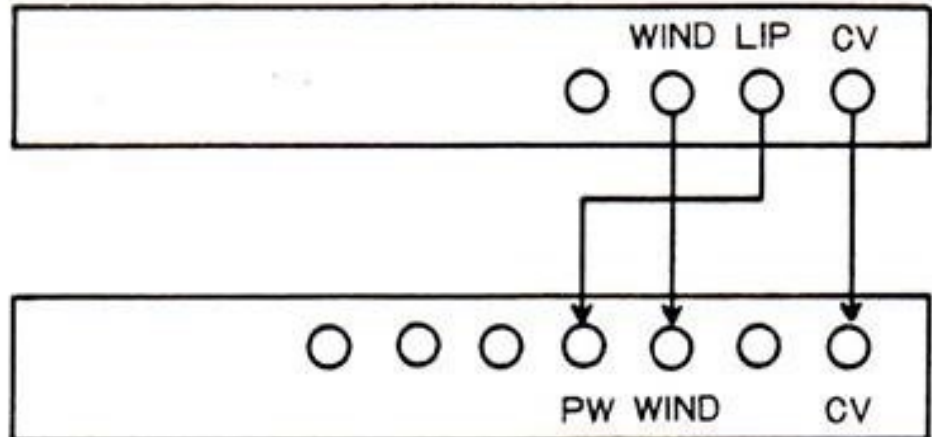
# VM-1

## パッチング例

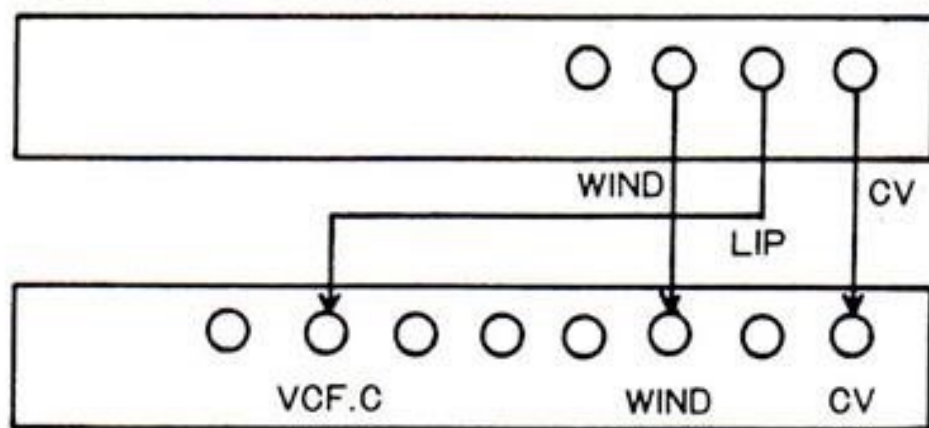
① ノーマル。



② LIP ベンダーによりパルス幅をコントロールする。



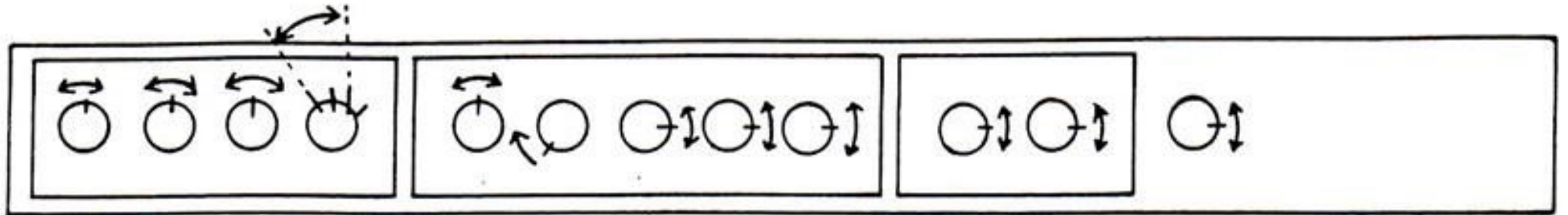
③ LIP ベンダーによりVCFのカットオフをコントロールする。



## 使用方法 1.

- ①のセッティングをしたら電源を入れます。
- ウォームアップに5~10分まって下さい。
- DR-1のスレッシュホールドを右に回し音を出します。

- 図の様にセッティングし希望の音を選びます。
- DR-1のスレッシュホールドを左へ回し音を止めます。
- ボディに息を吹き込み演奏します。

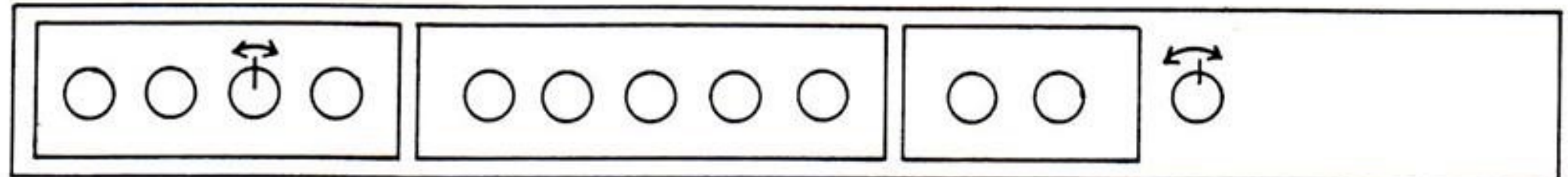


## 2.

- ②のセッティングをします。DR-1のLIPをVM-1のPWにパッチする。
- VCO PWコントロールを適当な所へ回し、

ボディのリップベンダーを動かし音質が変化する事を確認する。

3) 演奏して下さい。

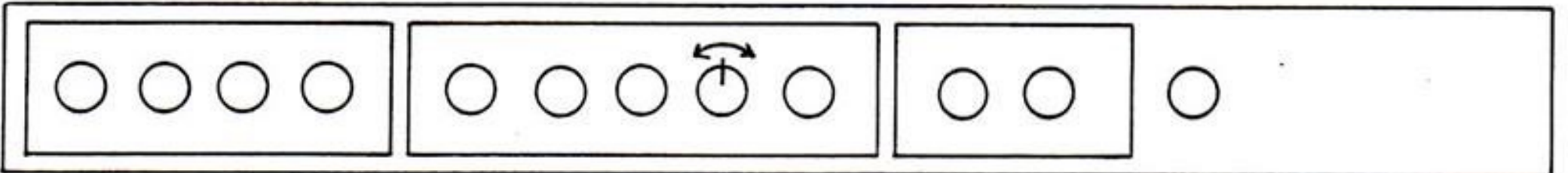


## 3.

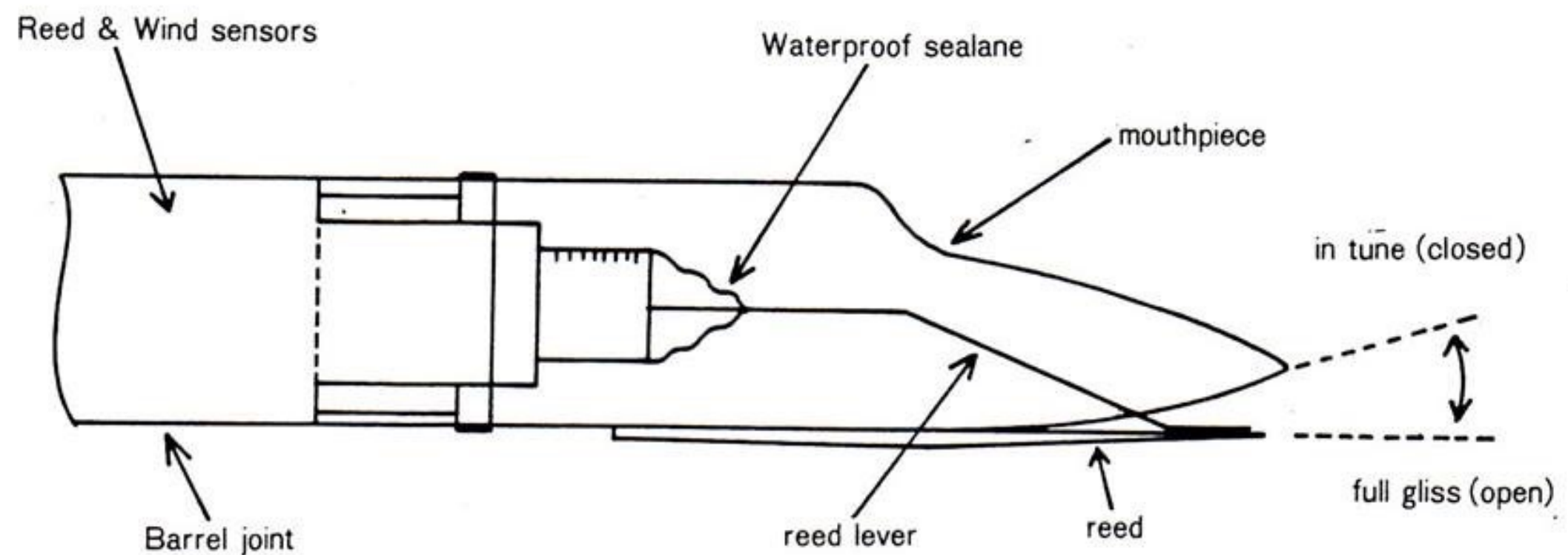
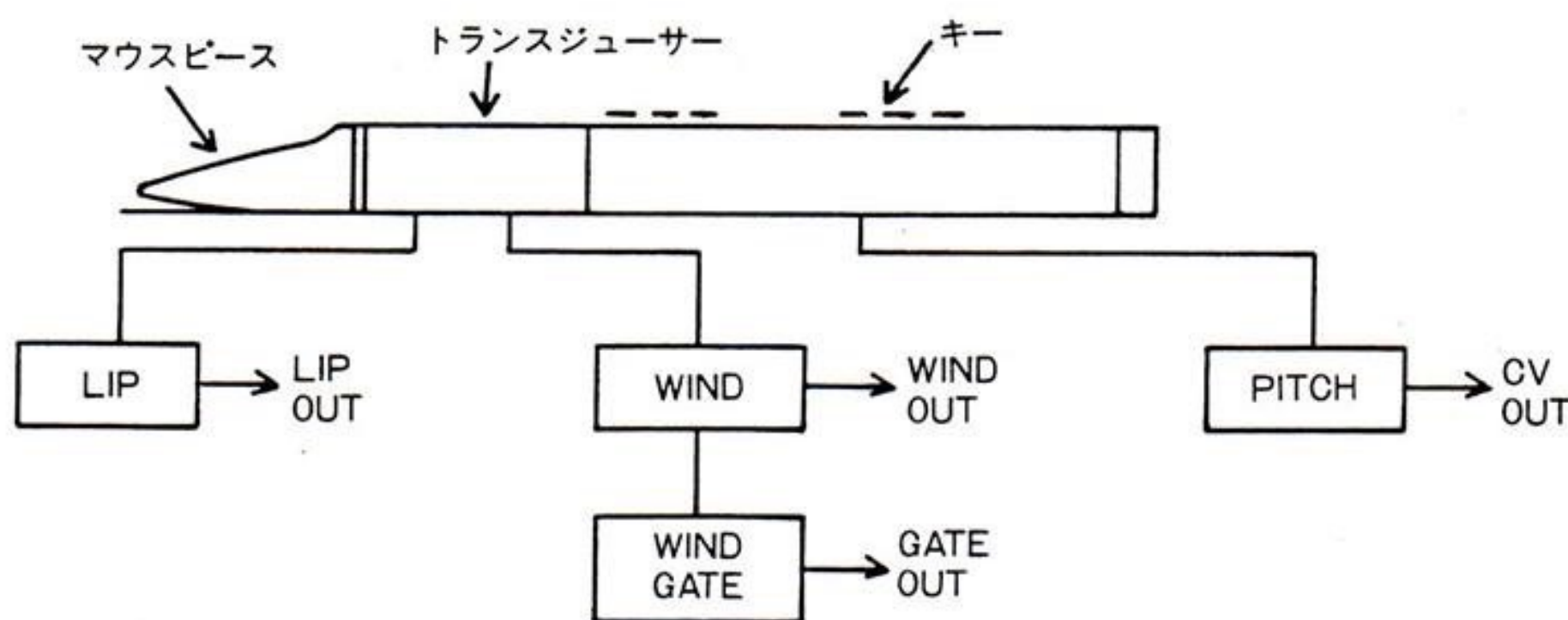
- ③のセッティングをします。DR-1のLIPをVM-1のVCFコントロールに。
- VM-1のVCF LIPコントロールを適当な所へ回し、ボディのリップベンダーを動かし

カットオフフレクエンシーが変化する事を確認する。

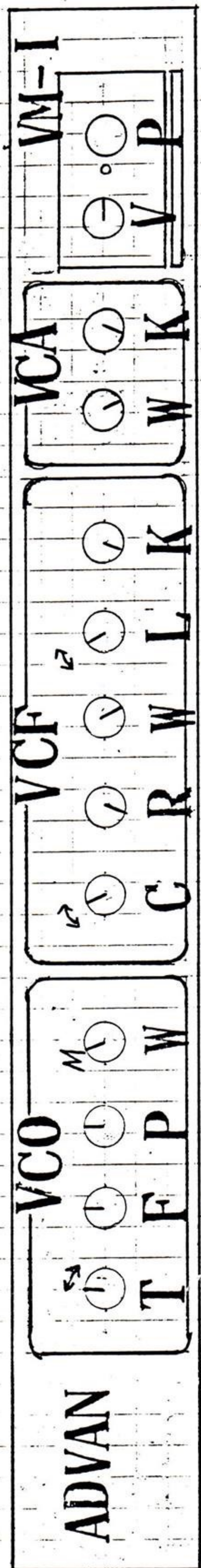
4) 演奏して下さい。



## Body説明図



# ADVANCED PRO-AUDIO DESIGNS WIND SYNTHESIZER TYPE II



TAKESHI ITO  
SOUND COLOUR

# ADVANCED Pro Audio Designs

## Wind Synthesizer Type III 使用説明書

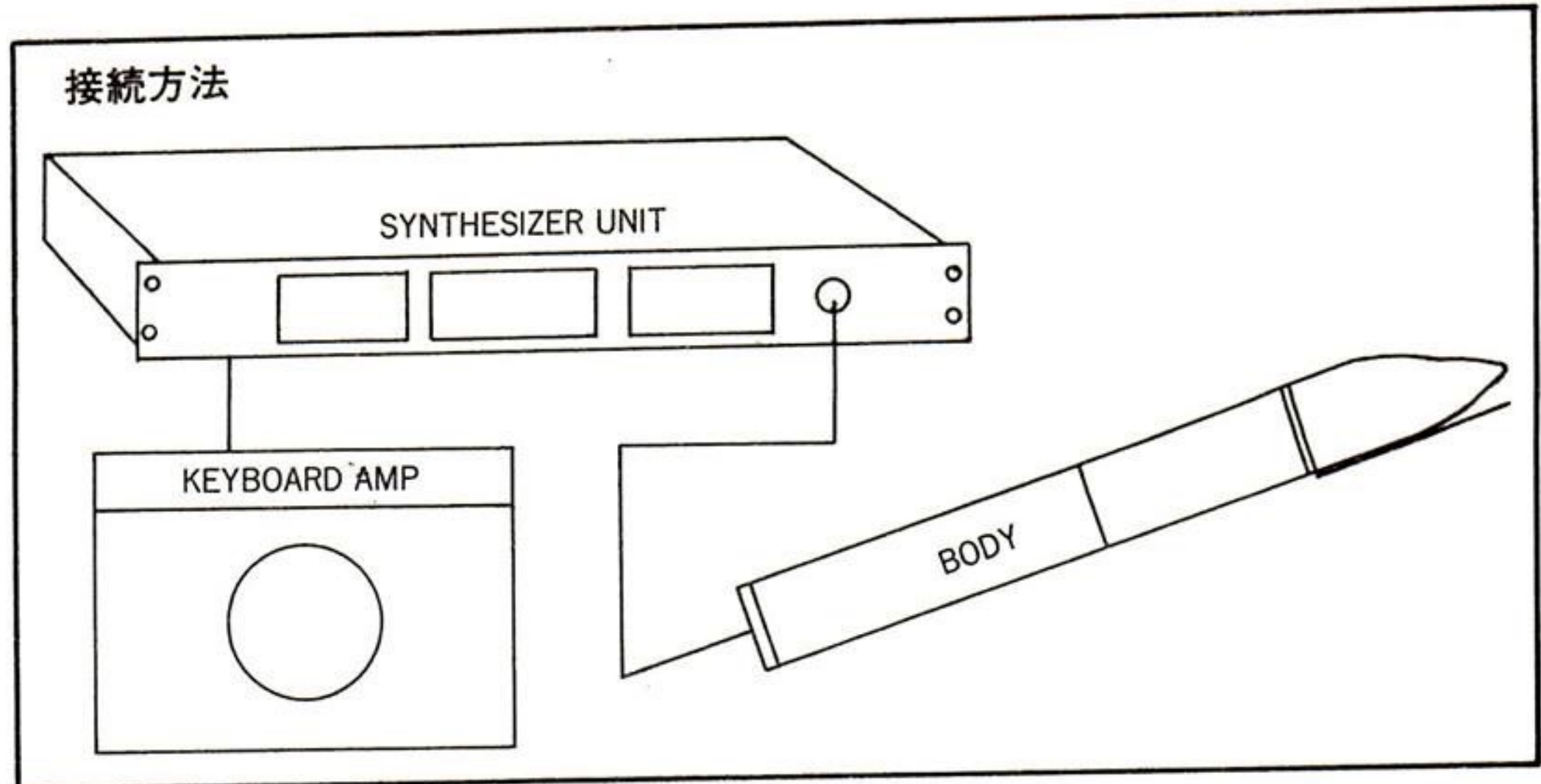
“ADVANCED Pro Audio Designs” ウィンドシンセサイザー Type III は、ボディ本体ならびにシンセサイザーユニットから構成されています。ボディは図のように、マウスピース、トランジューサー（プレスとリード量のセンサー）とキー操作部の3つから成り立っていますが、分解することは絶対にさけてください。

ボディ内の掃除は、トランジューサー部にタオルを巻き、口に水を含みマウスピースより吹き込みます。水が全て出るまで吹き込みましたら、タオルで回りの水分を拭き取ります。ボディ保管の際には、なるべくマウスピースを上にして立てておくようにして下さい。

### シンセサイザーユニット説明

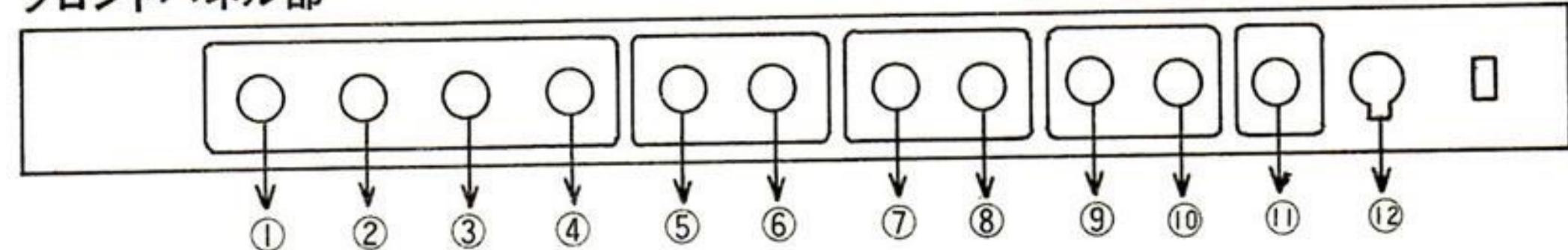
#### フロントパネル部

- ① RANGE  
オクターブで3段階に切替わります。
- ② SCALE  
ボディのオクターブスケールをこれで合わせます。電源を入れて10分程で安定しますので、それから合わせて下さい。
- ③ TUNING  
基本チューニングをこれで行ないます。②のスケールを合わせてから行なって下さい。
- ④ GLIDE  
ボディのキーアクションにポルタメント効果を加えるものです。
- ⑤ BEND  
マウスピースのリードの動きによってピッチを変えるものです。あまり掛けすぎますと音が安定しません。
- ⑥ THRESHOLD  
右側から左側へ回しますと、音がとまるポイントがありますので、そこで演奏して下さい。さらに左へ回しますと、強いプレスで吹くことができます。
- ⑦ PULSE WIDTH  
⑧の「L」の波の幅を可変します。左にしぼりますと狭くなりすぎて音は出ません。中央で丸いサウンド、右にするとオーボエなどのダブルリード的なサウンドが得られます。
- ⑧ WAVE  
「L」「M」「A」EX(外部オシレーター)の4つが選べます。のこぎり波「A」のサウンドが、ウィンドシンセサイザーで一番使用される波形です。
- ⑨ CUT-OFF FREQUENCY  
VCFの音質をきめる大切なコントローラーです。⑩のウィンドアマウントとのコンビネーションで、セッティングして下さい。
- ⑩ WIND AMOUNT  
⑥のマウスピーススレッシュドからの信号によってカットオフフレクエンシーを動かすものです。これを右に回し⑨を左側にセッティングしますと弱いプレスはやわらかに、強いプレスはかたく音を出すことができます。この音はウィンドシンセの音を決定する大事なポイントです。

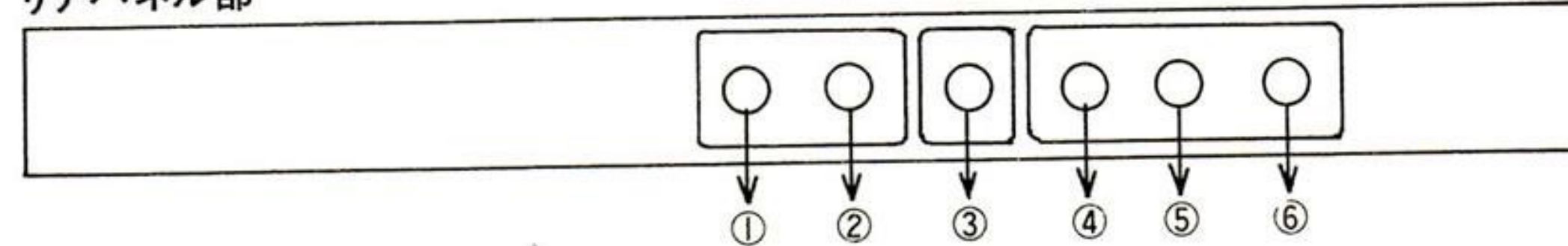


### シンセサイザーユニット説明

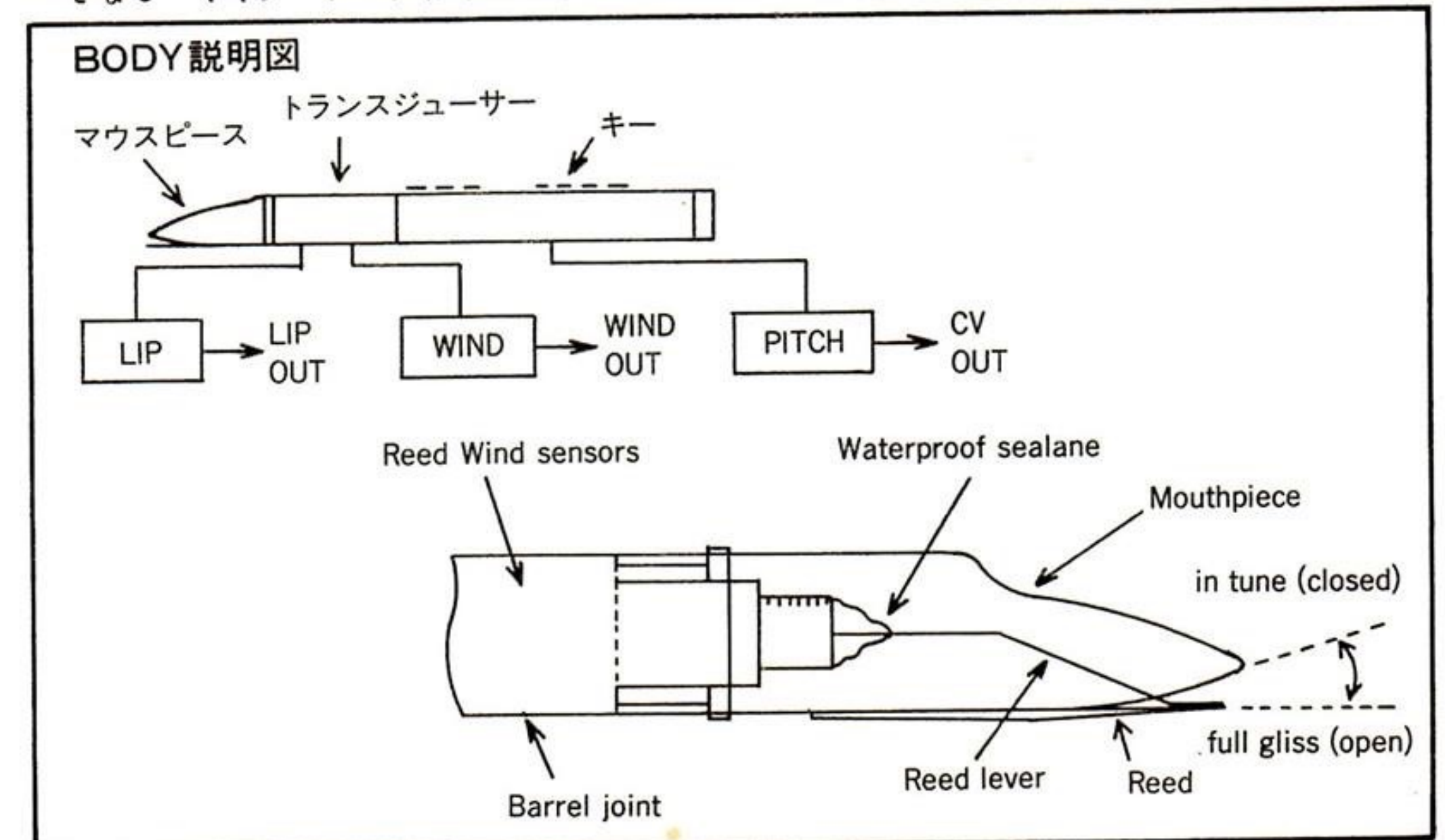
#### フロントパネル部



#### リアパネル部

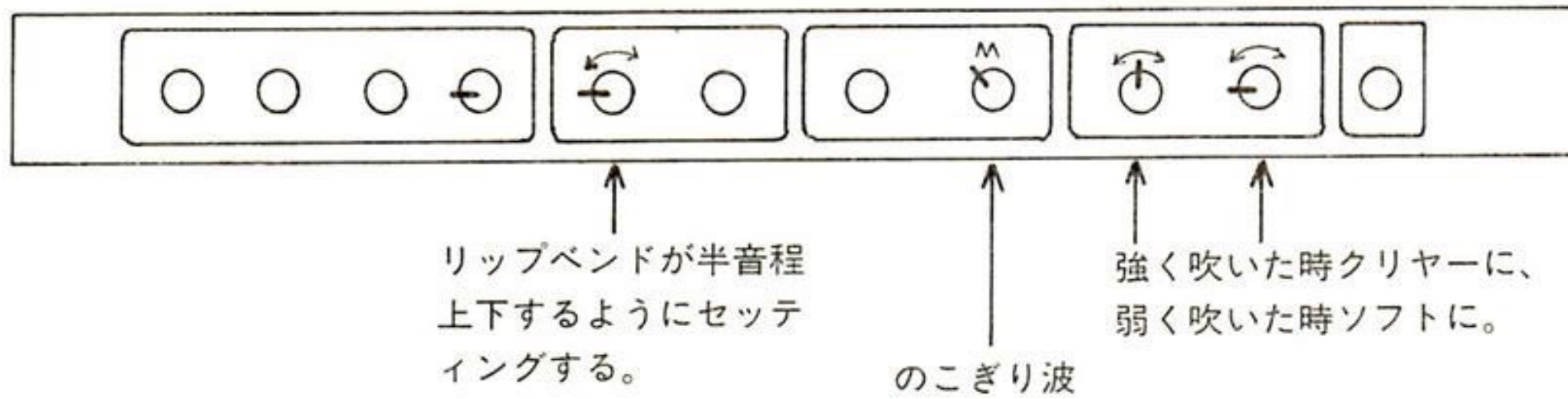


- ⑪ VOLUME  
リヤのオーディオアウトの量を可変します。
- ⑫ BODY DIN CONNECTOR  
コネクタをここにつなぎます。(注)必ず電源を切ってから操作して下さい。
- ③ EX. IN  
外部オシレーター入力、フロントのWAVEがEXのとき、作動します。
- ④ WIND  
DCで0~13ボルトのウィンド電圧が取り出せます。
- ⑤ LIP  
DCで0~13ボルトのリップ電圧が取り出せます。
- ⑥ CV  
キーコントロール電圧が取り出せます。ボルトオクターブで0~5ボルトとなっています。

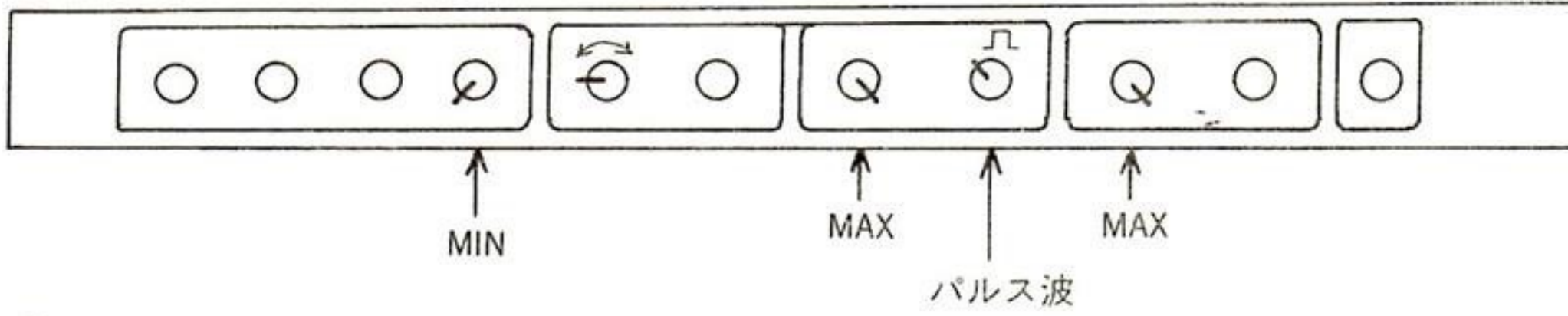


サウンド使用例

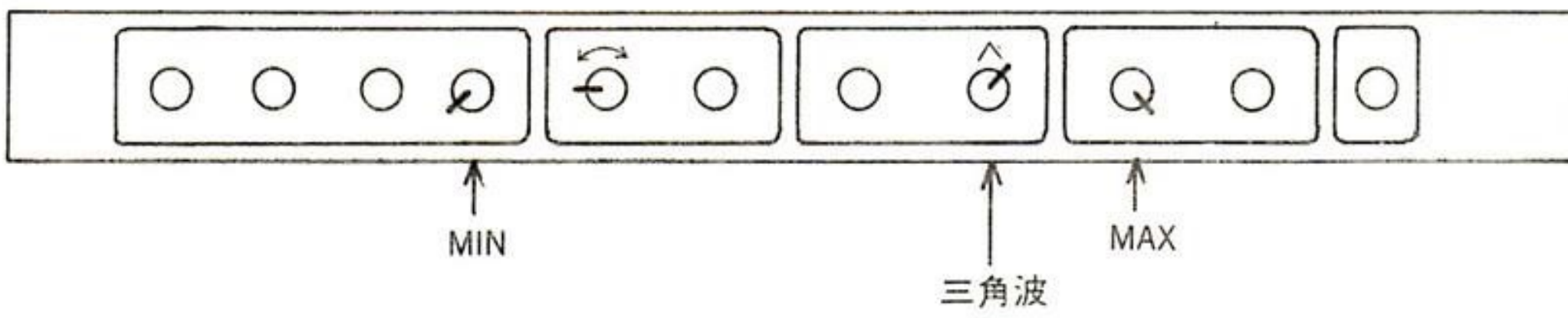
① リリコンサウンド



② Wリードサウンド



③ クラリネットサウンド

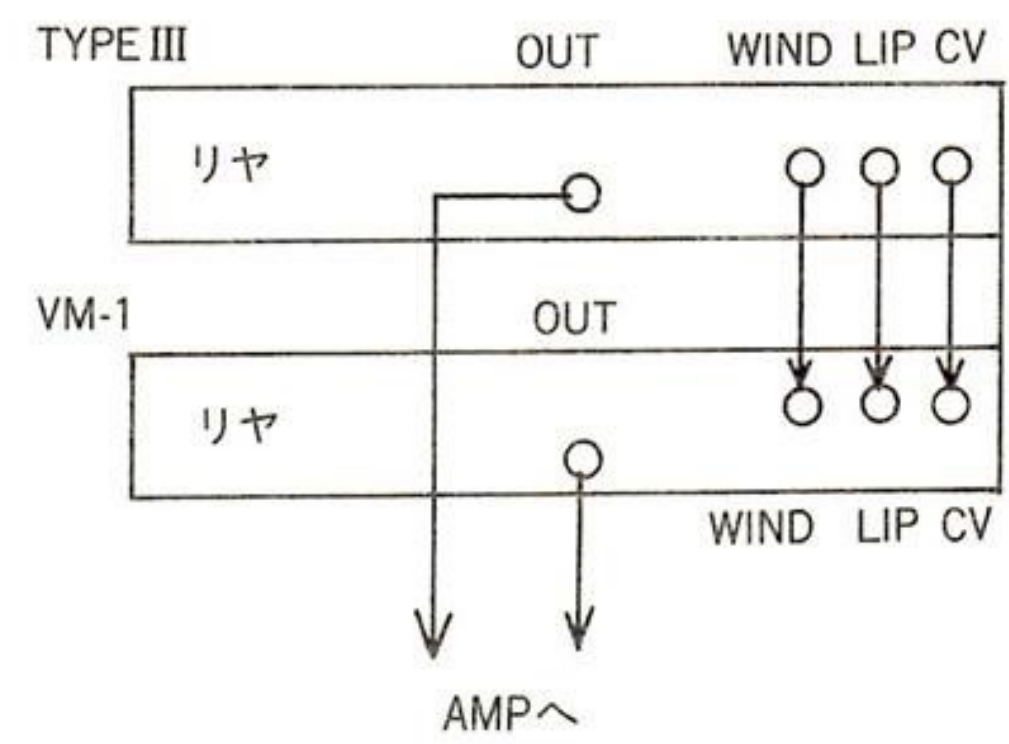


Fingering Chart

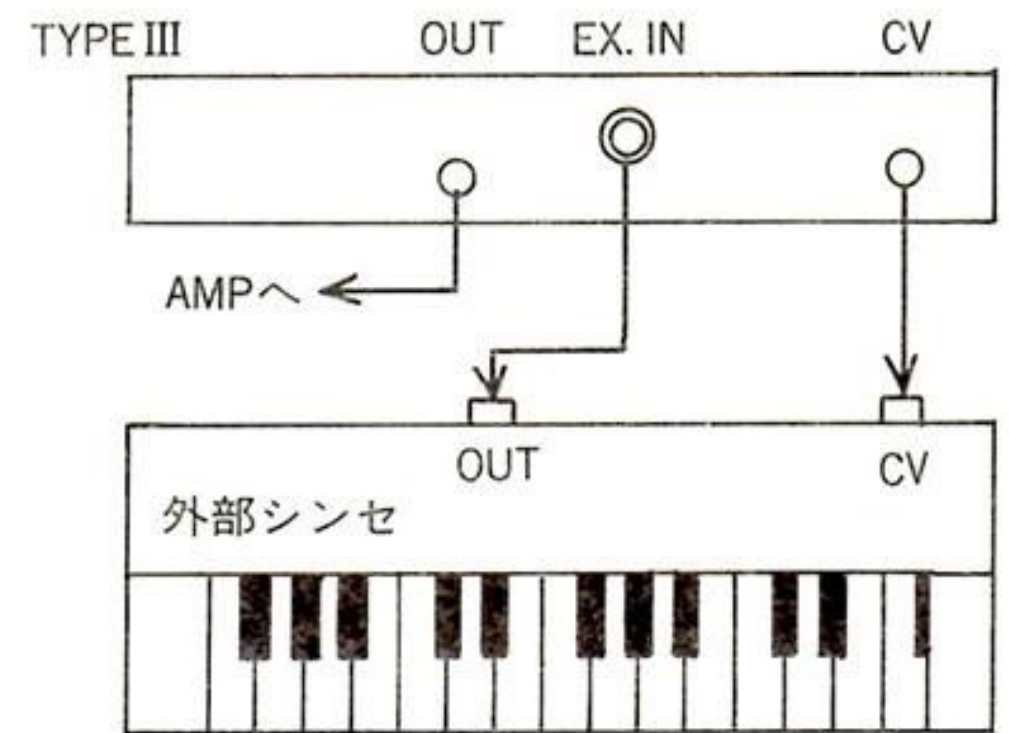
		LOW REGISTER (MODIFIED BOEHM SYSTEM)																	
		A#Bb	B#Cb	B#Cb	C#D#	C#D#	D#	D#E#	E#F#	E#F#	F#G#	F#G#	G#	G#Ab	Ab	A#Bb	B#Cb	B#Cb	C#D#
オクターブキー	1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	3	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	4	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	5	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
右手	6	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	8	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	11	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		MIDDLE REGISTER (MODIFIED BOEHM SYSTEM)																	
		D#	D#E#	E#F#	E#F#	F#G#	G#	G#Ab	Ab	A#Bb	B#Cb	B#Cb	C#D#	C#D#					
オクターブキー	1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
	3	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
	4	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
	5	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
右手	6	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
	8	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
	9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
	11	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
		UPPER REGISTER (MODIFIED BOEHM SYSTEM)																	
		D#	D#E#	E#F#	E#F#	F#G#	G#	G#Ab	Ab	A#Bb	B#Cb	B#Cb	C#D#	D#	D#E#				
オクターブキー	1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
	3	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
	4	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
	5	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
右手	6	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
	8	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
	9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
	11	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				

特殊な使用例

① VM-1を使用し、2VOICEとする場合

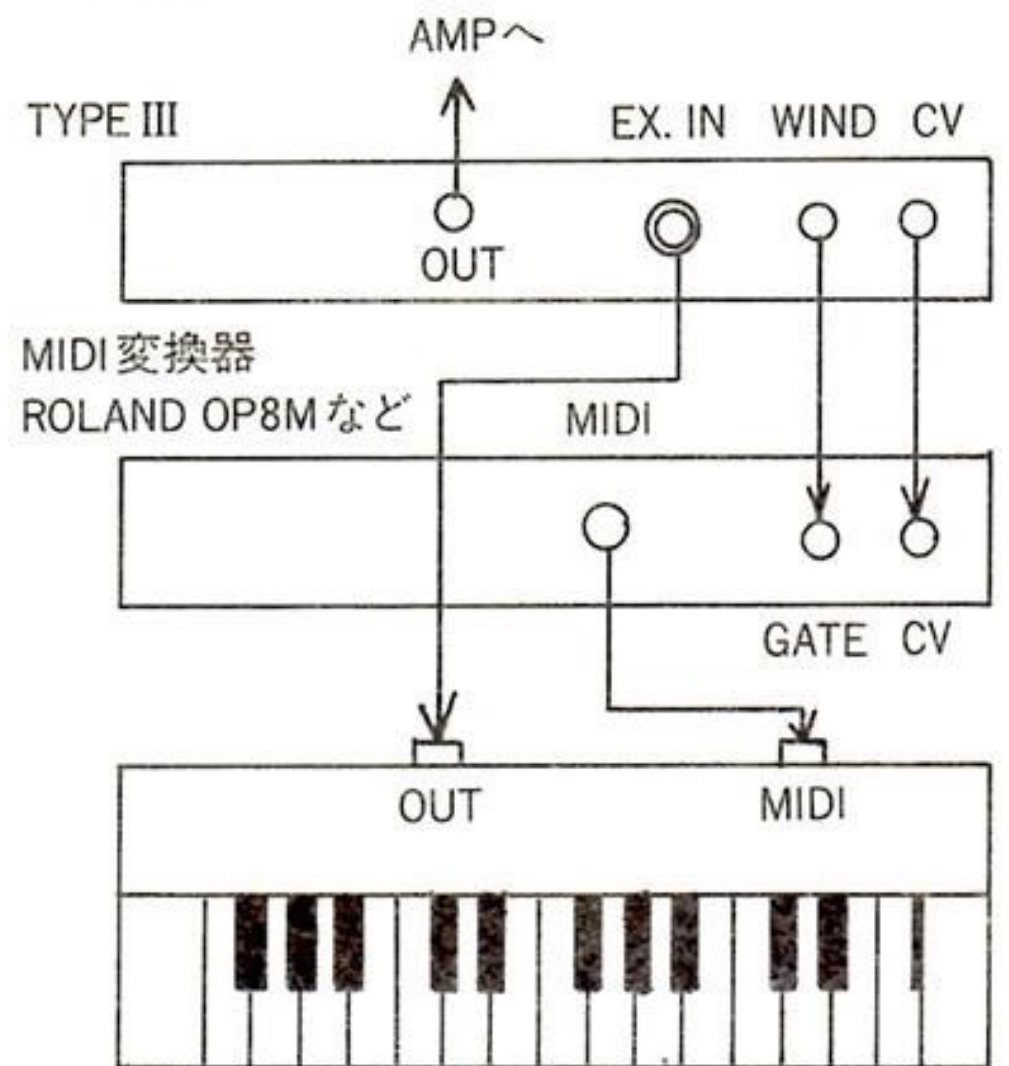


② 外部CV式シンセを使用する場合



この時、外部シンセはホールド（音を出しっぱなしにして、TYPE IIIはウェーブをEX）にする。

③ MIDI式シンセとCV-MIDI変換器を使用する場合



この時、外部シンセはホールドにする。又、MIDIのくせとして動作は少々遅れますので、当社はMIDIはおすすめ出来ません。



プロのサウンドを支える……

**D&K's International Ltd.**

〒106 東京都新宿区戸塚1-104 TEL.03-207-1095~6